

令和3年第1回定例会一般質問

日時 2月8日(月)、9日(火)、12日(金)

いずれも午前10時から

※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	吹春やすたか	令和3年2月8日(月)
2	白井 亨	
3	水谷 たかこ	
4	板倉 真也	
5	小林 正樹	
6	宮下 誠	
7	渡辺 ふき子	令和3年2月9日(火)
8	坂井 えつ子	
9	斎藤 康夫	
10	遠藤 百合子	
11	たゆ 久貴	
12	水上 洋志	令和3年2月12日(金)
13	渡辺 大三	
14	湯沢 綾子	
15	田頭 祐子	
16	紀 由紀子	
17	片山 薫	
18	篠原 ひろし	

一般質問の通告について

発言順

2

令和3年1月18日
(西暦2021年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

白井亨

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 「濃厚接触者となる可能性のある市民」の接触者の対応ガイドラインを	
・ 保健所による濃厚接触者の調査の現状は	
・ 調査が速やかに実施されない場合「濃厚接触者となる可能性のある市民」の行動基準は	
・ 市の施設、小中学校や保育園・学童保育所に関して行動基準を定めてはどうか	
・ 施設への問い合わせは職員の負担がかかるため、問い合わせ窓口を一元化し公表しないか	
【質問意図】都内のPCR検査数増とともに濃厚接触者調査も増え、保健所がマンパワー等の問題により、濃厚接触者調査が速やかに実施されないというケースを耳にしている。そこで、調査結果判明まで、濃厚接触者の可能性のある市民はその家族や日常の行動をどうすればよいか悩んでいる。ここを整理し、市民に周知したほうが良いのではないかと。また、その問い合わせも一元化することで、現場職員の負担を減らそう。	
2. 教員負担軽減と、保護者にとっての便利はICTツール導入で両立するのではないかと	
・ 教員の負担を軽減できる余地はどこにあるのか	
・ 保護者が先生に連絡する手段は、電話か連絡帳しかないことが不便であるという認識は	
・ 欠席の連絡を電話で受けなければならない絶対的な必要性はあるか	
・ 先進市を参考に、保護者と教員のやり取りをスマホアプリで一元化してはどうか	
・ 保育園、学童保育所、学校で連絡用ICTツールの運用を統合してはどうか	
【質問意図】昨年、某小学校で急遽午後児童を引き取りするという件について、学校からのお知らせメールに気づけなかったという話を複数の保護者から聞いた。そもそも、保護者と学校や教員とのやり取り手段が旧来の手法から変わらず、不便極まりない。教員負担軽減も含め、改善していく道筋を考えよう。	
3. 再開発エリアのコミュニティ道路の課題をデザインで解決しよう	
・ 当該道路に関して、市民から寄せられている声は	
・ 歩行者と車の通行を、より良い関係にするデザインを改めて考え直そう	
【質問意図】第二地区再開発の事業計画段階から指摘されてきたことだが、コミュニティ道路の理解も薄く、危険な状態を時々目にする。道路として活かすのであれば、より安全なデザインに変えてみよう。	

一般質問の通告について

発言順	3
-----	---

令和 3年 1月 19日
(西暦 2021)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水谷 たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 感染症が拡大する中でも、市民参加を保障するために	
①市民参加に不可欠な審議会等の資料・議事録はすみやかに市民に公開されているか。市のHPでの公開状況は、どのように管理しているのか。	
②コロナ禍で実施時期の変更が多いパブリックコメントの予定の周知は。	
【質問趣旨】緊急事態宣言下、審議会等が中止になったり、傍聴が制限されたりする中、市民への情報公開は充分か。パブコメの情報を市民にきちんと届けよう。	
2 こどもや若者の意見を活かす まちづくりをめざして	
1) 「小金井市立公園におけるボール遊び等のルール」(2021年1月1日市のHPに公開)策定に、当事者であるこどもの意見は反映されたのか	
①このルールの根拠、位置づけを確認する。	
②どのような過程を経て策定されたのか。	
③他市の事例を参考に、市民と一緒にルールづくりをしていかないか。	
例：川崎市「公園でのルール作りのガイドライン(ボール遊び)」	
品川区「子どもたちのアイデア等を活かした公園づくりワークショップ」	
2) こどもや若者の参加は進んでいるか	
①市民参加推進会議の提言を受け、若者の委員会参加等はすすんだか。	
②成人の日記念式典実行委員会の委員の選出方法、かかわり方は。	
③こども議会や若者議会を設置して、若者の発想をまちづくりに活かしていかないか。	
【質問趣旨】コロナ禍で学生や生徒は大きな影響を受けた当事者である。主権者でもあるこどもや若者の意見をもっと市政に活かしていこう。	

一般質問の通告について

発言順

4

令和 年 1 月 19 日
(西暦 2021)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への支援策の確立を	
(1) 自宅療養を余儀なくされている市民への食料や生活必需品を届ける体制はどうか。	
(2) 他自治体でも始めているように、小金井市の施策に組み入れ、支援を行なうべき。	
2. 児童遊園・子ども広場・緑地・公園の維持管理予算のアップを	
(1) 定期的に状況を確認・把握する体制は図られているのか。	
(2) 対応が必要と認識してから実施に至るまでに要する期間を問う。	
(3) 維持管理に必要な予算は確保されているのか。	
(4) 業者委託によらず市職員で対応する体制はあるのか。	
(5) 維持管理に必要な予算へと増額すべき。	

一般質問の通告について

発言順

5

令和 3年 1月19日
(西暦 2021)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 小林 正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><u>1. 今後の市政運営について問う</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症については、今後ワクチンの接種がスムーズに進み、一日も早く収束することを願う。一方、この間の日本経済における打撃は莫大であり、長期間に渡り、その影響が市税収入にも及ぶことは、令和3年度予算案を見ても明らかである。市政運営においては、今までの単なる継続ではなく、大きな方針の見直しも決断が迫られる。</p> <p><u>ア) 今後、見直しが必要と考える事業について</u></p> <p><u>イ) コロナ対策や支援事業などを先取りで検討しないか</u></p> <p><u>ウ) 今後の財政運営についてどのようなスタンスで取り組むのか</u></p> <p><u>エ) 市内経済の活性化させるために市独自でできることも検討すべき</u></p> <p><u>オ) 市民の活力を損なわないために、工夫をしたイベント開催の方法を検討すべき</u></p>	

一般質問の通告について

発言順

6

令和3年1月19日
(西暦2021)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、長期療養中の方の家族に対し、市としてパソコン類をWi-Fi機器とセットで貸出ししないか</p> <p>(1) 市内の介護施設や病院の現状について</p> <p>(2) コロナ禍の中、施設や病院に長期にわたり入所・入院している方の家族に対し、タブレット端末等をWi-Fi機器とセットで貸出ししないか</p> <p>(3) その際、使い方を丁寧に伝え、新たなIT利用者の拡大へとつなげては</p> <p>2、ペット（犬や猫等）の飼育マナーの徹底について</p> <p>(1) 市内におけるペット数と狂犬病予防注射の現状は</p> <p>(2) 注射済票の首輪等への取り付けについて</p> <p>(3) 散歩の際のフンやオシッコの始末について</p> <p>(4) 地域ぐるみで取り組む「イエローカード作戦」を展開しないか</p> <p>(5) 飼い犬が人を咬んでしまった場合の対応を市のHP等で掲載しないか</p> <p>(6) 犬猫マナーの啓発に特化したプレートを配布しないか</p> <p>3、防災の取組に工夫をしないか</p> <p>(1) 防災備蓄してある非常食の数量と、賞味期限が迫ったものの取扱いについて</p> <p>(2) 学校給食として、年に一度、災害時の食事を体験する「防災給食」を提供しないか</p> <p>(3) 防災倉庫の名称について、設置団体の主体的な意思を尊重しないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

7

令和3年1月19日
(西暦2021)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

渡辺みき子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、新型コロナウイルス感染症からいのちと生活を守る体制整備を 国は新型コロナウイルスワクチンについて2月末接種開始としているが、わが市の接種体制について問う</p> <p>①わが市の準備の現状について、事務事業の進捗状況や担当する人員の確保は進んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none">市医師会等との協力体制について、場所の確保、人員の確保等の検討状況はワクチン接種を専任する担当職員が必要ではないか接種券の配布から接種に向けたスケジュールと市民への周知について <p>②ワクチン接種に対してはBCP対策を踏まえた接種体制をとるべき</p> <ul style="list-style-type: none">全市民への着実な接種推進を図るため全庁を挙げての協力体制をつくるべき <p>③いのちを守るワクチン接種の体制整備を</p> <ul style="list-style-type: none">コロナ禍の市民の健康を確保するための、他のワクチン接種の推進状況 <p>④感染者の現状や、自宅療養者、濃厚接触者等、家族への支援について</p> <ul style="list-style-type: none">療養中の食料の確保や、買い物等の現状と今後の支援について住まい等の支援について出来ること	

一般質問の通告について

発言順

8

2021年 1月 19日

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

坂井 えり子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 障がいのある児童生徒への合理的配慮を～移動支援の利用を認めよう (1) 市立小中学校を設置している小金井市が、児童生徒が移動支援を利用できるよう制度を整えよう。 (2) 教育長の見解を伺う。</p> <p>2 女性も、男性も、性的少数者も自分らしく暮らせる小金井に (1) パートナーシップ宣誓制度を利用した方、利用を検討している方の意見を聞くなどして、制度をレベルアップしよう。 (2) 「男女共同参画の視点からの表現の手引」を周知・徹底しよう。</p> <p>3 地域の憩いの場の存続を 浴恩館公園内にある公民館緑分館の野外調理場の現状と今後は。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

一般質問の通告について

発言順

9

令和 3年 1月19日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>新型コロナの経済的影響を回避・回復するために地方自治体として国に対し強く求めるべきである</p> <p>コロナ対策の財源、歳入減少の補填の財源は国が補償すべきである</p> <p>1. 消費税0% 時限的対策でも良いので早急に求めるべき</p> <p>(ア) 消費税を低減させ、景気回復の起爆剤に</p> <p>① 全品目軽減税率による</p> <p>② 税率そのものを低減</p> <p>③ 廃止</p> <p>(イ) 経済状況と失業率と自殺者数の関連性</p> <p>2. 特別定額給付金、最低20万円を求めるべき</p> <p>(ア) 売上減少企業に粗利補償すべきだったが、様々な個別の補償をしてしまった現在では、個人補償するしか方法がない</p> <p>① 10万円×2回</p> <p>② 20万円×1回</p> <p>(イ) 緊急事態宣言を続けるのであれば、その後も定期的、継続的に給付すべき</p> <p>3. 地方自治体への交付金を確保させるべき</p> <p>(ア) 地方交付税の確保</p> <p>(イ) 減収補填交付金</p> <p>(ウ) 臨時財政対策交付金</p>	

一般質問の通告について

発言順

10

令和3年1月19日
(西暦2021)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

遠藤 百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、省エネと健康維持を目的とした住宅の断熱向上の周知を！</p> <p>住宅の断熱効果を向上させることが省エネと健康維持につながる</p> <p>(1)住宅の断熱不足の健康に与えるリスクを回避するために</p> <p>(2)地球温暖化対策と健康維持増進に役立つ省エネ健康住宅の普及を図っていかないか</p> <p>(3)高断熱建設物の認証制度の活用を</p> <p>(4)戸建て住宅の省エネ性能の説明義務化が令和3年4月から始まり、建築主に対し住宅の省エネ説明が課される。広報の在り方は</p>	

一般質問の通告について

発言順	11
-----	----

令和 年 1 月 19 日
(西暦 2021)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) たけふ 貴

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるためには、PCR検査を大規模に拡充し、無症状者を含めた陽性を隔離・保護することが重要である。多くの国民・団体・感染症の専門家・日本医師会・ノーベル賞受賞者などに至るあらゆる方々が要望している。 国・東京都に支援を要望するとともに、小金井市としてできる最大限の取り組みを行うことを求める	
2 加齢性難聴者への補聴器購入補助を求める	
3 バスケットゴールの設置などで、市内北西エリアでもバスケットボールが楽しめる環境を作ることを求める	

一般質問の通告について

発言順	13
-----	----

令和3年 / 月 / 日
(西暦 2021)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 ムダ遣いはやめて、真に必要なことにお金を使う「脱ムダ改革」を私はめざします</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる充実を (ア) 医療等従事者、介護等従事者、保育等従事者への継続的な慰労 (イ) 自宅療養者への支援 (ウ) 商工業者への支援 (エ) アーティストや市民活動への支援(1%条例の検討)</p> <p>② 庁舎等建設は、大型コストダウンを可能にする設計案に転換を (ア) 財政見直し (イ) 政策の優先順位(コロナ対策こそ最優先すべき) (ウ) コロナ禍ではまだ把握できていない民意(全市民アンケートの実施)</p> <p>③ 少数精鋭の市役所をめざして (ア) 法人税、固定資産税の税収構造が脆弱な本市は、固定費の最たるものである人件費の縮減に努め、市民サービスの財源に不足を来たさないようにすべきである。</p>	

一般質問の通告について

発言順

15

令和 3年 1月 19日
(西暦2021)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭初子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>(1) コロナ禍の今こそ、もっと外遊びを</p> <p>①子どもの発達と外遊びの関係について、市の認識は</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の市内で、子どもの外遊び環境はどう変わったか <p>②市の冒険遊び場事業を更に拡げて、子どもたちの健やかな育ちを応援しよう</p> <ul style="list-style-type: none">・市の公園等での開催について・出張や出前プレーパークの開催について <p>(2) 職員のコーディネート能力アップで、公民館をもっと生き生き輝かせよう</p> <p>①公民館の5館構想と、新庁舎における公民館本部・新しい公民館機能の関連は</p> <p>②公民館の「地域課題解決型学習」は何を目指すのか</p> <p>③公民館職員の役割・専門性とは</p> <p>(3) 保健センター移転後の活用や、文化財センターの更なる活用について市民参加で検討しよう</p> <p>保健センターや子ども家庭支援センターは、新福祉会館竣工後はそちらに移転される。また文化財センターは元々は青少年センター。文化財の保存と青少年センター機能不足が課題。</p> <p>①保健センター跡地の活用等について、地元の町会から出ている要望書は</p> <p>②文化財センターの課題についてと展望は</p> <p>③今後は青少年センターとしての機能を充実させないか</p> <p>④これらの施設の活用で、大学、NPO、地域の市民力などと連携して、若者から高齢者まで集い学び交流できる、居場所づくりを進めないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

16

令和3年、1月19日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

紀由紀子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、切れ目のない子育て支援（出産に関して）</p> <p>(1) 東京都では、コロナ禍における子育て支援の一環として、2021年4月から2年間、出産家庭へ都独自で10万円分の子育て支援サービスや育児用品を提供する方針を明らかにした。対応を進めないか。</p> <p>(2) 出産後に心身の変調をきたす産後うつ予防のため、産婦健康診査の助成事業を行わないか。</p> <p>2、図書館について</p> <p>安心して図書を借りられるように図書消毒器が設置された。また、2020年12月から電子書籍の導入が始まり、コロナ対策だけでなく、図書館に足を運べない人でも、いつでも、どこでも、手軽に、読書できるようになった。音声読み上げや、文字の大きさを変えることなど、様々な便利な機能がある。市民のサービス・利便性向上のため、更なる周知を要望する。</p> <p>(1) 利用状況は、どうか。</p> <p>(2) 市民への周知を更に進めていかないか。</p> <p>(3) 図書数の拡充をしないか</p>	

一般質問の通告について

発言順	17
-----	----

2021年 1月 19日

(宛先)
小金井市議会議員長

小金井市議会議員 片山 かつる

発言通告書（一般質問）
小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><u>1. 「生活保護は国民の権利」厚労省の発信を踏まえた行政運営を</u></p> <p>2020年12月22日、厚労省は「生活保護の申請は国民の権利です。」という呼びかけをHP上でおこなった。職や住まいを失ってもなお、生活保護だけは利用したくない、という人が年末の相談会や支援団体へのSOSの中で多く見られた。生活保護バッシングが長く続いた結果、セーフティネットの機能を果たさなくなっている。</p> <p>1) 役所が閉庁時の年末年始の相談会や食糧支援には困窮された多くの方が訪れていた。市は閉庁時の窓口は開けなかったが、夜間窓口での対応は。オンラインからFAXで申請書を提出できる「フミダン」が支援団体によって開発された。「フミダン」についての認識は。年末に社会福祉協議会が行なったフードドライブの成果は。防災備蓄食糧とJAや食育関係など、庁内連携したフードバンクの検討をはじめないか。</p> <p>2) 生活保護申請のハードルを下げることと、職員の事務負担を減らすため、申請の際の扶養照会はずべて撤廃しないか。扶養照会の件数と照会によって扶養に至った件数は。</p> <p><u>2. 予防接種、ワクチン接種は強制されていないか</u></p> <p>1) 乳幼児の予防接種の案内で、それぞれの病気の発生率、重症化率、副作用、副反応などはどのように伝えられているか。</p> <p>2) 保育所や学校等で、予防接種、ワクチン接種が強制されていないか。一時保育や保育所入所の際の条件としているところはないか。</p> <p><u>3. 市の基本条例としての子どもの権利条例の運用を</u></p> <p>1) 子どもの権利に関する条例は市の基本条例のはずだが、庁内各課の認識は。</p> <p>2) 明日の小金井教育プランや教育基本方針などに、子どもの権利が基礎とならないのはなぜなのか。主権者教育の中でも子どもの権利は重要な位置をしめると考える。</p> <p>3) 子どもの権利条例自体の推進計画がなく、検証組織となる子どもの権利委員会を設置してこなかったために、市の基本条例としての機能を果たすことができなかったのではないかと。子どもオンブズパーソン設置にむけて、権利条例の位置付けを認識しなおすべきである。</p>	

